



つゆの季節になりました。あじさいが美しく花をさかせています。

室内で過ごすことの多いこの時期は、のんびりと読書を楽しむのもいいですね。

青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が新しく入ってきました。

図書委員さんも児童朝会で発表してくれたので、ぜひ手に取ってみてください。

せいしょうねんどくしょかんそうぶんぜんこく

青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

かだいとしょ

5, 6年生
小学校
高学年

「ぼくはうそをついた」

にしむら すぐり 作 なかしま かの 絵
西村 すぐり 作 中島 花野 絵



あの人を救いたくて、原爆で亡くなった息子のフリをした。

小学5年生のリョウタが、自分の住むヒロシマの街を歩きながら、今も消えない原爆の傷と人々の想いについて考えます。

ポプラ社



「ドアのむこうの国へのパスポート」

トンケ・ドラフト&リンデルト・クロムハウト 作
リンデ・ファース 絵
にしむら ゆみ やく
西村 由美 訳



本を読むことは、心のとびらを開けること。作家からのなぞときに挑む子どもたちは、ドアのむこうにたどりつけるのか？

岩波書店



「図書館がくれた宝物」

たから
ケイト・アルバス 作
くした りえ やく
櫛田 理絵 訳



両親のいないきょうだい
の疎開先での心のよりどころは村の図書館。
そんな3人はひそかに「本当の親」になってくれる人をさがして…。

きょうだいの助け合いが印象的な、心あたたまる物語です。

徳間書店



「海よ光れ！」

ひさいしゃ はげ
3・11被災者を励ました学級新聞
たざわ さつき
田沢 五月 文



ひがしにほんだいしんさい ひなんじょ
東日本大震災の避難所
となった小学校で、被災者といっしょに寝泊まりしていた子どもたち。何を感じ、自分たちに何ができるのかを考え取り組んだこととは…。

福音館書店





しょくいくげっかん 6月は食育月間です



しょくいく しょくじ た かん
食育とは、食事や食べものに関するちしきと、からだによい食べものをえらぶ力を身に付け、健康的な食生活がおくれるようにするためのべんきょうです。

た
食べる力は生きる力です。学校図書館で食育の本を読んで、楽しみながら学んでみましょう。

「ににんにんにんじん」

童心社



いわさ ゆうこ

きょうからはじめる
食育のえほん①
「いただきます」

ポプラ社



服部栄養料理研究会 監修
久住 昌之 作・絵

はじめての
食育クッキングえほん
「4つのおさらで
げんきになあれ」
おたんじょうびのメニュー 金の星社



吉田 隆子 作
せべ まさゆき 絵

「どこからきたの？
おべんとう」
金の星社



鈴木 まもる 作・絵

「給食室のいちにち」

少年写真新聞社



大塚 菜生 文
イシヤマ アズサ 絵

からだだいすきえほん
「おいしいな」

Gakken



La Zoo 作
かいち とおる 絵

「おこめをつくる
のうふののふさん」
新日本出版社



室井 さと子

「しょうたとなつとう」
ポプラ社



星川 ひろ子 星川 治雄 写真 文
小泉 武夫 監修

「和食の教科書」
文溪堂



江原 絢子 針谷 順子 高増 雅子 著
足立 己幸 編著